

つくば・市民ネットワーク 市議会速報

つくば市議会議員：永井悦子・瀬戸裕美子

<連絡先>会派代表：永井悦子 つくば市千現1丁目18-5 パレスビネス101 Tel&Fax：859-0264

E-mail：tsukubahotnet@ybb.ne.jp ホームページ：http://www.geocities.jp/tsukubahotnet/

3月つくば市議会定例会（2月28日～3月17日）が終了しました。

風車の失敗に学べ！

～“真の市民協働”とは？～

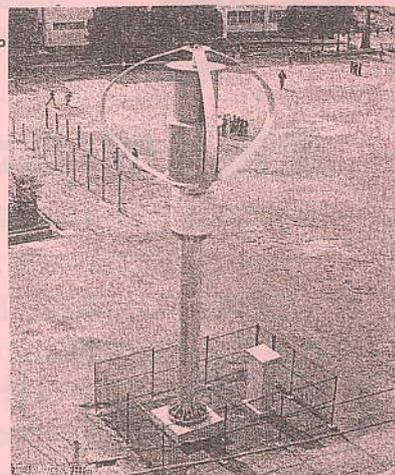
“回らない風車”について連日テレビや新聞、雑誌で報じられていますが、議会最終日に、つくば市は早稲田大学に約3億円の損害賠償を求める議案を提案しました。十分な議論も行われないうちに、瀬戸・永井2名の反対もなく、賛成多数で可決してしまいました。

なぜこんなことになってしまったのでしょうか？

そもそも、つくば市は、1999年に市民環境会議を市民公募で組織し、そこでは新エネルギー導入についても調査検討が行われました。メンバーには専門の研究者もあり、結論として「つくば市では1kwh規模のマイクロ風車と太陽光発電の組み合わせが望ましい」と報告しています。にもかかわらず、市はこの提言を無視し、草のネコチップ事業に売電益を回すだけの発電量を見込める10kwh規模の小型風車に固執し、十分な調査・検討もせず、強引に進めたため、今のような事態に至っています。

今議会の冒頭、市原市長は施政方針演説の中で「市民提案型から一歩進んで、市民と行政がまちづくりの共同の担い手として、一緒に汗を流して、お互いの成果と責任を共有し合う真の意味での『協働』を実践したい」と述べています。しかし、実際は市民提案に耳を傾けなかったためにこの失敗を招いたともいえます。

今回の失敗を教訓として、つくば市は、市民の声に耳を傾け、“補助金目当て・公共事業ありき”の古い政治から脱却しなければなりません。市民と行政が知恵と力を出し合えば、“真の市民協働”が実現し、つくば市を良くしていく大きな力になるはずです。行政も、議会も、責任の押し付け合いを止め、風車に夢を描き、毎日学校で回らない風車を見つめている子ども達や市民にきちんと説明できるような、最善の解決策を探るべきでしょう。



福祉都市はどこへ？ 「応益負担」という名の値上げラッシュ！

3月議会ではH18年度予算とともに、下水道料金、国民健康保険税、公立幼稚園授業料の値上げや、暮らしを圧迫する条例改正が次々と提案され、賛成多数で可決されてしまいました。下水道では一般的な家庭で75%もの値上げとなり、また、国民健康保険税は均等割・平等割がそれぞれ年9,000円増で、それだけでも年18,000円の値上げです。

国民健康保険はいざという時に誰もが安心して医療にかかるための助け合いの仕組みですが、サラリーマンの加入する社会保険に比べ、現金収入の不安定な加入者が多く、値上げにより、今以上に支払い困難な人を増やす結果になりかねません。生活・命に関わる問題です。つくば・市民ネットワークは「本当に値上げしか方法がないのか、もっと慎重な検討をすべき」と提言を続けていきます。



文教福祉常任委員会所属

せと ゆみこ
瀬戸 裕美子

3月市議会「一般質問」で確認した項目

1. 生涯学習推進基本計画
2. 学校図書館
3. 市民協働

1. 景観行政
2. 文化芸術の振興
3. リサイクルプラザ建設
4. 男女共同参画推進事業

5. 指定管理者制度
6. まちづくり
7. まほろば事業



環境経済常任委員会所属

ながい えつこ
永井 悦子

今議会の一般質問・質疑・討論など詳しい内容は4月中旬発行予定の「つくば・市民ネットワーク通信第6号」に掲載します。

ご希望の方はつくば・市民ネットワーク事務局（TEL859-0264）までご連絡ください。

景観条例・高さ制限条例は住民参加で！

公務員住宅跡地等の再開発で、緑地が極端に減少したり、一戸建て住宅に隣接して高層マンションが建築されるなど、緑豊かなゆとりある街並みがあちこちで失われています。

これに対し、周辺住民が業者に計画変更を求める動きが市内各地で発生しており、12月議会で大きな問題になりました。今3月議会で市は、「高さ制限をする地域の見直し」や、「景観に関する計画をH18年中、景観条例をH19年の早い時期に制定したい」と答弁し、街並みづくりの実現に向けた動きが確認されました。これら規制や条例は、現在発生している再開発問題を直接解決するものではありませんが、今後計画されている公務員住宅跡地売却などを考え、街並みが激変しないよう、作業を急ぐ必要があります。

これらと平行して、地域住民で自分達のまちのあり方を話し合うなど「住民参加の手続き」を含んだ「まちづくり条例」の実現が望まれます。

議案の採決と請願の採択結果(3月議会)

請願・陳情の内容 (結果 採択:○、不採択:×)	結果	つくば・市民ネットワーク	つくばクラブ	つくば市民政策研究会	平政会	公明党	民主党・つくば21	日本共産党	新社会党
早稲田大学への損害賠償訴訟公の提起	○	×	○	○	○	○	○	○	○
稲岡地区モール型大規模商業施設誘致についての請願	○	×	○	○	○	○	○	棄権	○
国民健康保険税・介護保険料の値上げをやめる請願	×	○	×	×	×	×	×	○	○
つくば市役所の新庁舎建設の一時凍結を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	○	×
つくば市下水道使用料の大幅値上げに反対する請願	×	○	×	×	×	×	×	○	○
各会派の所属議員 (敬称略) *: 会派代表		*永井 瀬戸	*鈴木、石川 久保谷、塩田 矢口、沖山、市川、大平、大久保	*柳沢 須藤 高野 安井 吉葉 古山	*飯岡 塚、柳田 木村、 星田	*内田 馬場 坂本 小野	*今井 田宮 宮本 五十嵐	*滝口 橋本	*金子

なお、「障害者自立支援法施行に向けて障害者福祉制度の充実(後退防止)を求める請願」と、継続中の「宗教法人幸福の科学『つくば支部』建設に反対する請願」「(仮称)つくば市並木3丁目共同住宅新築工事」への行政指導を求める請願」は、さらに審議が必要と認められ、閉会中の継続審議となりました。

代理人とおしゃべり会

～ごみの減量を考える・リサイクルプラザに望むこと～

4月26日(月) 10～12時 宝陽台集会所予定

5月 7日(日) 13～15時 春日公民館予定

5月11日(木) 10～12時 手代木公民館予定

「代理人」は、私たちの意見を代弁する人という意味です。

市議会議員の永井悦子と瀬戸裕美子をお迎え、身近なまちづくりの問題について、情報交換や話し合いをします。ご都合の良いお時間で参加して下さい！